

対象校No.
注4

学校コード F112310102422
注3

設置年度 令和 7年度

計画の区分： 学部の設置
注1

届出

注2

敬愛大学 情報マネジメント学部 情報マネジメント学科 (必要がある場合) ○○専攻

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正後大学設置基準適用)

学校法人千葉敬愛学園
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	大学運営室
職名・氏名	シュカン オカモト ユウスケ 主幹・岡本 優輔
電話番号	043-251-6363 (内線: 1405)
(夜間)	043-251-6363 (内線:)
e-mail	daigaku-unei@u-keiai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) ○○大学 △△学部 □□学科

(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合: 「○○大学」
- 学部の設置の場合: 「○○大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合: 「○○大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合: 「○○短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合: 「○○大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合: 「○○大学大学院 ○○研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合: 「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

情報マネジメント学部

＜情報マネジメント学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教育研究実施組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	32

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 千葉敬愛学園

(2) 大学名

敬愛大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒263-8588
千葉県千葉市稲毛区穴川1丁目5番21号

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(サンベイトシオ) 三幣利夫 (令和3年4月)		
学長	(ナカヤマ ユキオ) 中山幸夫 (令和6年4月)		
学部長	(ナリマツ キョウヘイ) 成松恭平 (令和7年4月)		
学科長等	「該当なし」		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和7年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
情報マネジメント学部 情報マネジメント学科 学士(情報マネジメント学)	経済学関係	4年	50人	2年次 3年次 4年次 人 人 人	200人	-	基礎となる学部等 経済学部 経済学科

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。）

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	50人 (「-」) [1]	人	-			
志願者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	77 (「-」) [2]	人				
受験者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	74 (「-」) [1]	人				
合格者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	74 (「-」) [1]	人				
B 入学者数	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	33 (「-」) [1]	人				
入学定員超過率 B/A	-		-								0.66			0.66倍	「-」倍	

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 - ・()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.33収容定員の充足状況をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
2 年次			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
			(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
3 年次					-	-	-	-	-	-	-	-	
					[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
					(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
4 年次							-	-	-	-	-	-	
							[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	
							(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33	-	
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[1]	[-]	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	

- (注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
令和6年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
令和7年度	33 人	0 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
			令和7年度	- 人	- 人	
合計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{33} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			基幹教員等の配置					の基幹教員を 除く(助手外)
				必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
基礎科目	Writing I	2前		1								3
	Writing II	2後		1								3
	Listening I	2前		1								3
	Listening II	2後		1								3
	Debate I	2前		1								1
	Debate II	2後		1								1
	敬天愛人講座	1前・1後		2			1					11
	敬愛プログラム	1後		2								1
	スポーツ教育 I	1前		1								1
	スポーツ教育 II	1後		1								1
	哲学	1後		2								1
	心理学	1前		2								1
	社会心理学	1後		2								1
	歴史学	1後		2								1
	文学	1前		2								1
	法学	1前・1後		2								1
	憲法	1前・1後		2								1
	政治学	1前		2								1
	社会学	1後		2								1
	数学 I	1前		2								1
	数学 II	1後		2								1
	統計学 I	1前		2								1
	統計学 II	1後		2								1
英語で学ぶPython	1後		2				1					
環境科学	1前		2								1	
ボランティア活動	1前		2								1	
小計(42科目)	-		0	62	0	1	1	0	0	0	32	
キャリア科目	キャリアデザインを学ぶ	1前		2							1	
	キャリアプランニング	1後		2							1	
	キャリアディベロップメント	2前		2							1	
	企業の魅力発見	2後		2							1	
	実践的キャリア演習 I	3前		2							1	
	実践的キャリア演習 II	3後		2							1	
ブレインターンシップ	3前		2							1		

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			専任教員等の配置					の基幹教員を 除く(助手外)
				必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
基礎科目	Writing I	2前		1								3
	Writing II	2後		1								3
	Listening I	2前		1								3
	Listening II	2後		1								3
	Debate I	2前		1								1
	Debate II	2後		1								1
	敬天愛人講座	1前・1後		2			1					11
	敬愛プログラム	1後		2								1
	スポーツ教育 I	1前		1								1
	スポーツ教育 II	1後		1								1
	哲学	1後		2								1
	心理学	1後		2								1
	社会心理学	1後		2								1
	歴史学	1後		2								1
	文学	1前		2								1
	法学	1前・1後		2								1
	憲法	1前・1後		2								1
	政治学	1前		2								1
	社会学	1前		2								1
	数学 I	1前		2								1
	数学 II	1後		2								1
	統計学 I	1前		2								1
	統計学 II	1後		2								1
英語で学ぶPython	1後		2								1	
環境科学	1前		2								1	
ボランティア活動	1前		2								1	
金融リテラシー	1前		2								1	
小計(43科目)	-		0	64	0	1	1	0	0	0	33	
キャリア科目	キャリアデザインを学ぶ	1前		2							1	
	キャリアプランニング	1後		2							1	
	キャリアディベロップメント	2前		2							1	
	企業の魅力発見	2後		2							1	
	実践的キャリア演習 I	3前		2							1	
	実践的キャリア演習 II	3後		2							1	
ブレインターンシップ	3前		2							1		

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			専任教員等の配置					基 礎 科 目 → 助 手 を 外 除 の
				必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎科目	インターンシップ	3後			1							1
	ポストインターンシップ	3後			2							1
	小計(9科目)	-		4	13	0	0	0	0	0	0	4
導入科目	経営学概論	1前	○	2			1					
	経済学概論	1後	○	2				1				
	情報概論	1前	○	2			1					
	経営情報論	1後	○	2			1					
	ビックデータマネジメント	1後	○	2			1					
	小計(5科目)	-	-	10	0	0	3	1	0	0	0	0
基礎科目	経営戦略論	2前		2			1					
	マーケティング論	2前	○	2				1				
	地域経済論	2前		2			1					
	AI概論	2前		2			1					
	DS概論	2後	○	2			1					
	プログラミング(Python)	2前		2								1
生成系AI入門	2後		2			1						
	小計(7科目)	-	-	0	14	0	4	1	0	0	0	1
専門科目	流通経営論	2前			2		1					
	観光概論	2前	○		2		1					
	消費者行動論	2後			2			1				
	地域資源論	2後			2		1					
	ロジスティクス(物流管理)論	2後			2			1				
	サービスマーケティング論	2前			2			1				
	デジタルマーケティング論	2後			2			1				
	観光マーケティング	2後			2		1					
	地方創生論	2前	○		2		1					
	千葉県の産業と行政	2前			2			1				
	千葉の観光研究	2後			2		1					
	観光政策論	2前			2		1					
	地域分析論	2前			2			1				
	交通経済学	2後			2		1					
	観光事業論 I	2前			2		1					
	観光事業論 II	2後			2		1					
旅行産業論	2前			2		1						

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			専任教員等の配置					基 礎 科 目 → 助 手 を 外 除 の
				必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
基礎科目	インターンシップ	3後			1							1
	ポストインターンシップ	3後			2							1
	小計(9科目)	-		4	13	0	0	0	0	0	0	2
導入科目	経営学概論	1前		2			1					
	経済学概論	1前		2				1				
	情報概論	1前		2			1					
	経営情報論	1後		2			1					
	ビックデータマネジメント	1後		2			1					
	小計(5科目)	-	-	10	0	0	3	1	0	0	0	0
基礎科目	経営戦略論	2前		2			1					
	マーケティング論	2前		2				1				
	地域経済論	2前		2			1					
	AI概論	2前		2			1					
	DS概論	2後		2			1					
	プログラミング(Python)	2前		2								1
生成系AI入門	2後		2			1						
	小計(7科目)	-	-	0	14	0	4	1	0	0	0	1
専門科目	流通経営論	2前			2		1					
	観光概論	2前			2		1					
	消費者行動論	2後			2			1				
	地域資源論	2後			2		1					
	ロジスティクス(物流管理)論	2後			2			1				
	サービスマーケティング論	2前			2			1				
	デジタルマーケティング論	2後			2			1				
	観光マーケティング	2後			2		1					
	地方創生論	2前			2		1					
	千葉県の産業と行政	2後			2			1				
	千葉の観光研究	2後			2		1					
	観光政策論	2後			2		1					
	地域分析論	2前			2			1				
	交通経済学	2後			2		1					
	観光事業論 I	2前			2		1					
	観光事業論 II	2後			2		1					
旅行産業論	2前			2		1						

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			専任教員等の配置					教員(助手以外を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	宿泊産業論	2後		2		1						
	航空産業論	2前		2		1						
	地域観光論	2前		2		1						
	国際観光論	2後		2		1						
	情報マネジメント特別講義A	3前		2		1						
	情報マネジメント特別講義B	3後		2		1						
	経済市場分析A	3前		2							1	
	経済市場分析B	3後		2							1	
	観光市場分析	3前		2			1					
	ビジネスデータ解析	3後		2			1					
	GIS(地理空間情報システム)分析	2前		2			1					
	不動産市場分析	2後		2			1					
	会計情報と経営分析	2後		2		1						
	ビジネスデータ分析手法A	2後		2		1						
	ビジネスデータ分析手法B	2後		2							1	
	ビジネスデータ分析手法C	2前		2							1	
	AI・データサイエンス経営実践	2前		2		1						
	観光地経営実践	3前		2		1						
	アルゴリズム論	2前		2		1						
	情報セキュリティ論	2後		2		1						
	AI特講	2前		2		1						
	プログラミング(R)	2前		2							1	
	自然言語処理	3後		2		1						
情報ガバナンス	3後		2								1	
情報英語 I	3前		2			1					1	
情報英語 II	3後		2			1					1	
小計(43科目)	-		0	86	0	8	4	0	0	0	3	
演習科目	専門導入演習 I	2前	○	1		8	4					
	専門導入演習 II	2後	○	1		8	4					
	専門演習 I	3前	○	1		8	4					
	専門演習 II	3後	○	1		8	4					
	卒業演習 I	4前	○	1		8	4					
	卒業演習 II	4後	○	1		8	4					
	卒業論文・卒業研究	4後	○	2		8	4					
小計(7科目)	-		8	0	0	8	4	0	0	0	0	
合計(128科目)	-		40	175	0	8	4	0	0	0	47	

卒業要件及び履修方法

必修科目40単位、基礎科目の教養科目の選択科目から16単位、キャリア科目の選択科目から2単位、専門科目の基礎科目の選択科目から8単位、専門科目の展開科目の選択科目から48単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。
履修科目の登録の上限:1年~4年 42単位(年間)

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	主要授業科目	単位数			専任教員等の配置					教員(助手以外を除く)
				必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	宿泊産業論	2後		2		1						
	航空産業論	2前		2		1						
	地域観光論	2前		2		1						
	国際観光論	2前		2		1						
	情報マネジメント特別講義A	3前		2		1						
	情報マネジメント特別講義B	3後		2		1						
	経済市場分析A	3前		2								1
	経済市場分析B	3後		2								1
	観光市場分析	3前		2			1					
	ビジネスデータ解析	3後		2			1					
	GIS(地理空間情報システム)分析	2前		2			1					
	不動産市場分析	2後		2			1					
	会計情報と経営分析	2後		2		1						
	ビジネスデータ分析手法A	2後		2		1						
	ビジネスデータ分析手法B	2後		2							1	
	ビジネスデータ分析手法C	2前		2							1	
	AI・データサイエンス経営実践	2前		2		1						
	観光地経営実践	3前		2		1						
	アルゴリズム論	2前		2		1						
	情報セキュリティ論	2後		2		1						
	AI特講	2前		2		1						
	プログラミング(R)	2後		2								1
	自然言語処理	3後		2		1						
情報ガバナンス	3後		2								1	
情報英語 I	3前		2			1					1	
情報英語 II	3後		2			1					1	
小計(43科目)	-		0	86	0	8	4	0	0	0	4	
演習科目	専門導入演習 I	2前	○	1		8	4					
	専門導入演習 II	2後	○	1		8	4					
	専門演習 I	3前	○	1		8	4					
	専門演習 II	3後	○	1		8	4					
	卒業演習 I	4前	○	1		8	4					
	卒業演習 II	4後	○	1		8	4					
	卒業論文・卒業研究	4後	○	2		8	4					
小計(7科目)	-		8	0	0	8	4	0	0	0	0	
合計(129科目)	-		40	177	0	8	4	0	0	0	48	

卒業要件及び履修方法

必修科目40単位(言語科目は4単位:英語科目は日本人のみ、日本語科目は留学生のみ)、基礎科目の教養科目の選択科目から16単位、キャリア科目の選択科目から2単位、専門科目の基礎科目の選択科目から8単位、専門科目の展開科目の選択科目から48単位以上を修得し、合計124単位以上修得すること。
履修科目の登録の上限:1年~4年 42単位(年間)

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度未時点の情報として記入してください。)

- 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
- 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
- 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を**太字の赤字**としてください。
(専任教員から基幹教員に変更したことをもって太字の赤字とする必要はありません。)
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務実習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度】(新)→【令和6年度】(新)→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度】(旧)→【令和6年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和7年度】

I. 科目の追加

全学的に、早い段階からの「金融リテラシー」教育を通じて、金融知識の習得とともに学生の金融業界への関心を広げ、地域経済を支える地域金融で活躍できる人材の養成につなげるため、新規科目「金融リテラシー」を追加する。

- (注)・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡潔書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼担教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和6年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
29 科目	99 科目	0 科目	128 科目	29 科目 []	100 科目 [1]	0 科目 []	129 科目 []	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{128} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	校舎敷地 敬愛短期大学、敬愛学園高校と共用			
	校舎敷地	0㎡	85,432.51㎡	0㎡	85,432.51㎡				
	そ の 他	2,990.44㎡	㎡	0㎡	2,990.44㎡				
	合 計	2,990.44㎡	85,432.51㎡	0㎡	88,422.95㎡				
(2) 校 舎	専 用	7,772.85㎡	12,159.68㎡	2,043.49㎡	21,976.02㎡	敬愛短期大学と共用			
	(7,772.85㎡)	(12,159.68㎡)	(2,043.49㎡)	(21,976.02㎡)					
(3)教室・教員研究室		教 室	50室	教員研究室	12室	教室は大学全体 教員研究室は情報マネジメント学部専用			
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具 標本 点 点	図書館は短期大学と共用 学部等単位での特定不能のため、大学・短大全体の数 【図書】 移転に伴う除籍数見直しのため(6) 【学術雑誌】 契約中アグリゲータの収録タイトル数減のため(6)		
		[うち外国書]	電子図書 [うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル [うち外国書]				
	情報マネジメント学部 情報マネジメント学科	90,000 [4,500] 77,000 [-3,800] (83,408 [4,434]) -(75,176 [-3,545])	2,000 [250] (1,789 [221]) -(1,837 [-221])	27,300 [27,120] (25,157 [25,001]) -(28,209 [-27,341])	27,216 [27,115] (25,061 [25,000]) -(27,176 [-27,116])	32 (32)		()	
	計	90,000 [4,500] 77,000 [-3,800] (83,408 [4,434]) -(75,176 [-3,545])	2,000 [250] (1,789 [221]) -(1,837 [-221])	27,300 [27,120] (25,157 [25,001]) -(28,209 [-27,341])	27,216 [27,115] (25,061 [25,000]) -(27,176 [-27,116])	32 (32)		()	
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設		大学全体		
	48.31㎡		㎡		3,931.11㎡				
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	※図書購入費、共同研究費等及び設備購入費は大学全体 図書購入費には電子ジャーナル・データベース整備費用(運用コスト含)含む 【図書購入費】 当該年度において学部として必要な図書(和書・洋書)が増えたため(6)
		教員1人当たり研究費等	350千円	350千円	図書購入費	16,989千円 13,000千円	14,500千円 13,000千円	13,000千円	
	共同研究費等	13,480千円	13,570千円	設備購入費	38,144千円	15,000千円	15,000千円		
	学生1人当り納付金	第1年次 1,360千円	第2年次 1,110千円	第3年次 1,110千円	第4年次 1,110千円	第5年次 千円	第6年次 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、付随事業収入、手数料収入他							

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。
(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)
- ・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
 - ・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	敬愛大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
情報マネジメント学部														
情報マネジメント学部	4	50		200	学士(情報マネジメント学)	0.66			令和7	千葉県千葉市稲毛区穴川1-5-21				
経済学部	4	260	2年次2 3年次2	1050	-	1.03	1.00			千葉県千葉市稲毛区穴川1-5-21	令和6年度から入学定員変更(225→260)			
経済学科	4	130	2年次1 3年次1	525	学士(経済学)	1.03	1.00		昭和41	同上	令和6年度から入学定員変更(115→130)			
経営学科	4	130	2年次1 3年次1	525	学士(経営学)	1.03	1.00		平成25	同上	令和6年度から入学定員変更(115→130)			
国際学部	4	98	2年次1 3年次1	397	-					同上				
国際学科	4	98	2年次1 3年次1	397	学士(国際学)	0.89	-		平成9	同上				
こども教育学科	-	-	-	-	-	-	-		平成23	同上	令和3年度から学生募集停止(72→0)			
教育学部														
こども教育学科	4	72	2年次1 3年次1	293	学士(教育学)	0.99	-		令和3	同上				
大学全体	4	430	2年次4 3年次4	1940	-	0.98	-		-	-				

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部、学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.3.3収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<情報マネジメント学部 情報マネジメント学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	成松 恭平 <令和7年4月> 博士(経営学)
		経営学概論 経営情報論 経営戦略論 会計情報と経営分析 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	津々見 崇 <令和7年4月> 博士(工学)
		地域観光論 地方創生 千葉の観光研究 観光マーケティング 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	野村 尚司 <令和8年4月> 博士(経済学)
		航空産業論 旅行産業論 情報マネジメント特別講義A 情報マネジメント特別講義B 1年基礎演習Ⅰ 1年基礎演習Ⅱ 2年次専門導入演習Ⅰ 2年次専門導入演習Ⅱ 3年次専門演習Ⅰ 3年次専門演習Ⅱ 4年次卒業演習Ⅰ 4年次卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究

【令和7年度】

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	成松 恭平 <令和7年4月> 博士(経営学)
		経営学概論 経営情報論 経営戦略論 会計情報と経営分析 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	津々見 崇 <令和7年4月> 博士(工学)
		地域観光論 地方創生 千葉の観光研究 観光マーケティング 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	野村 尚司 <令和8年4月> 博士(経済学)
		航空産業論 旅行産業論 情報マネジメント特別講義A 情報マネジメント特別講義B 1年基礎演習Ⅰ 1年基礎演習Ⅱ 2年次専門導入演習Ⅰ 2年次専門導入演習Ⅱ 3年次専門演習Ⅰ 3年次専門演習Ⅱ 4年次卒業演習Ⅰ 4年次卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	根本 敏則 <令和7年4月> 博士(工学)
		流通経営論 地域経済論 ビジネスデータ分析手法A 交通経済学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	高橋 和子 <令和7年4月> 博士(工学)
		情報概論 AI概論 アルゴリズム論 AI・データサイエンス経営実践 DS概論 自然言語処理 AI・DSへのいざない※ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	廻 洋子 <令和7年4月> 文学士
		観光概論 観光政策論 観光事業論Ⅰ 観光事業論Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	根本 敏則 <令和7年4月> 博士(工学)
		流通経営論 地域経済論 ビジネスデータ分析手法A 交通経済学 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	高橋 和子 <令和7年4月> 博士(工学)
		情報概論 AI概論 アルゴリズム論 AI・データサイエンス経営実践 DS概論 自然言語処理 AI・DSへのいざない※ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	廻 洋子 <令和7年4月> 文学士
		観光概論 観光政策論 観光事業論Ⅰ 観光事業論Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	三浦 知子 <令和7年4月> 修士(観光学)
		地域資源論 宿泊産業論 国際観光論 観光地経営実践 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 敬天愛人講座※ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	南 陽 <令和7年4月> 修士(理工学)
		ビックデータマネジメント AI特講 情報セキュリティ論 生成系AI入門 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	准教授	三幣(松川) 真理 <令和7年4月> 修士(学術)
		英語で学ぶPython TOEIC®向上講座Ⅰ 情報英語Ⅰ 情報英語Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	三浦 知子 <令和7年4月> 修士(観光学)
		地域資源論 宿泊産業論 国際観光論 観光地経営実践 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 敬天愛人講座※ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	教授	南 陽 <令和7年4月> 修士(理工学)
		ビックデータマネジメント AI特講 情報セキュリティ論 生成系AI入門 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
兼任	准教授	三幣(松川) 真理 <令和7年4月> 修士(学術)
		英語で学ぶPython TOEIC®向上講座Ⅰ 情報英語Ⅰ 情報英語Ⅱ 敬天愛人講座 ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	丁 明 <令和7年4月> 修士(経営学)
		マーケティング論 サービスマーケティング論 デジタルマーケティング論 消費者行動論 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	准教授	渡邊 徹 <令和7年4月> 博士(商学)
		経済学概論 千葉県の産業と行政 ロジスティック(物流管理)論 観光市場分析 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	准教授	白川 慧一 <令和7年4月> 博士(工学)
		地域分析論 GIS(地理空間情報システム)分析 不動産市場分析 ビジネスデータ解析 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
兼任	教授	中山 幸夫 <令和7年4月> 修士(文学) 敬天愛人講座 ※
兼任	教授	森島 隆晴 <令和7年4月> 修士(工学)
		AI・DSへのいざない ※

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	丁 明 <令和7年4月> 修士(経営学)
		マーケティング論 サービスマーケティング論 デジタルマーケティング論 消費者行動論 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	准教授	渡邊 徹 <令和7年4月> 博士(商学)
		経済学概論 千葉県の産業と行政 ロジスティック(物流管理)論 観光市場分析 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
専	准教授	白川 慧一 <令和7年4月> 博士(工学)
		地域分析論 GIS(地理空間情報システム)分析 不動産市場分析 ビジネスデータ解析 情報基礎Ⅰ 情報基礎Ⅱ 基礎演習Ⅰ 基礎演習Ⅱ 専門導入演習Ⅰ 専門導入演習Ⅱ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業演習Ⅰ 卒業演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究
兼任	教授	中山 幸夫 <令和7年4月> 修士(文学) 敬天愛人講座 ※
兼任	教授	森島 隆晴 <令和7年4月> 修士(工学)
		AI・DSへのいざない ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 矢口 和宏 <令和7年4月>修士(経済学) 敬天愛人講座 ※ 敬愛プログラム インターンシップ
兼任	教授	佐々木 英憲 <令和7年4月> 経済学士 敬天愛人講座 ※
		高木(天野) 朋代 <令和7年4月> 博士(社会学) 敬天愛人講座 ※
兼任	教授	彌島 康朗 <令和8年4月> 教育学士 キャリアディベロップメント 実践的キャリア演習Ⅰ 実践的キャリア演習Ⅱ プレインターンシップ ポストインターンシップ
		八木 直人 <令和8年4月> 修士(経済学) 企業の魅力発見
兼任	教授	増井 由紀美 <令和7年4月> Master of Arts(米国) Writing II
		庄司(高橋) 真理子 <令和7年4月> 修士(国際学) 敬天愛人講座 ※
兼任	教授	土弘 信彦 <令和7年4月> 文学士 敬天愛人講座 ※ ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ
		小林 輝明 <令和7年4月> 博士(環境共生学) 敬天愛人講座 ※
兼任	教授	家近(原) 亮子 <令和7年4月> 博士(法学) 歴史学

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 矢口 和宏 <令和7年4月>修士(経済学) 敬愛プログラム
兼任	教授	佐々木 英憲 <令和7年4月> 経済学士 金融リテラシー
		彌島 康朗 <令和8年4月> 教育学士 キャリアディベロップメント 実践的キャリア演習Ⅰ 実践的キャリア演習Ⅱ プレインターンシップ ポストインターンシップ インターンシップ 企業の魅力発見 敬天愛人講座 ※
兼任	教授	増井 由紀美 <令和7年4月> Master of Arts(米国) Writing II
		土弘 信彦 <令和7年4月> 文学士 ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ
兼任	教授	家近(原) 亮子 <令和7年4月> 博士(法学) 歴史学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 高岡 英氣 <令和7年4月> 博士(体育科学) 健康科学
兼任	准教授	佐藤 孔美 <令和7年4月> 修士(社会科学) 敬天愛人講座 ※
兼任	准教授	田中(酒井) 未央 <令和7年4月> 博士(心理学) AI・DSへのいざない ※ 心理学 社会心理学
兼任	准教授	大塚 慎太郎 <令和7年4月> 修士(教育学) AI・DSへのいざない ※
兼任	准教授	Promnitz Hayashi Lara <令和8年4月> Master of Arts(豪州) 修士(言語教育学(TESOL)) Speaking I Speaking II Writing I Listening I Listening II Debate I Debate II
兼任	講師	吉田 直広 <令和7年4月> 博士(経済学) AI・DSへのいざない 数学 I 数学 II 統計学 I 統計学 II
兼任	講師	會田 篤敬 <令和7年4月> 修士(英語教育)(英国) 英語 I A 英語 II A
兼任	講師	George Whalley <令和8年4月> Master of Arts(英国) 修士(言語教育学(TESOL)) Speaking I Speaking II Writing I Writing II Listening I Listening II

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名 高岡 英氣 <令和7年4月> 博士(体育科学) 健康科学
兼任	教授	田中(酒井) 未央 <令和7年4月> 博士(心理学) AI・DSへのいざない ※ 心理学 社会心理学
兼任	准教授	大塚 慎太郎 <令和7年4月> 修士(教育学) AI・DSへのいざない ※
兼任	准教授	Promnitz Hayashi Lara <令和8年4月> Master of Arts(豪州) 修士(言語教育学(TESOL)) Speaking I Speaking II Writing I Debate I Debate II
兼任	講師	吉田 直広 <令和7年4月> 博士(経済学) AI・DSへのいざない 数学 I 数学 II 統計学 I 統計学 II
兼任	講師	會田 篤敬 <令和7年4月> 修士(英語教育)(英国) 時事英語 I 時事英語 II
兼任	講師	George Whalley <令和8年4月> Master of Arts(英国) 修士(言語教育学(TESOL)) Speaking I Speaking II Writing I Writing II Listening I Listening II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		兼任
兼任	講師	嶋田 治雄 <令和7年4月> 工学士 基礎数学
兼任	講師	久保木 孝雄 <令和7年4月> 工学士 情報処理 I 情報処理 II
兼任	講師	三浦 通 <令和7年4月> 修士(文学) 英語 I B 英語 II B
兼任	講師	沢野 美由紀 <令和7年4月> 修士(文学) 日本語 I 日本語 II
兼任	講師	大熊 陽子 <令和7年4月> 修士(文学) フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	Frank Riesner <令和7年4月> Master of Mechanical Engineering (独国) ドイツ語 I ドイツ語 II

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		兼任
兼任	講師	佐久間 敦子 <令和7年4月> 修士(国文学) 文章表現 口頭表現
兼任	講師	大森 英一 <令和7年4月> 学士(理学) 基礎数学
兼任	講師	鞆沢 文子 <令和7年4月> 修士(文学) 英語 I A 英語 I B 英語 II A 英語 II B
兼任	講師	沢野 美由紀 <令和7年4月> 修士(文学) 日本語 I 日本語 II 文章表現 口頭表現
兼任	講師	大熊 陽子 <令和7年4月> 修士(文学) フランス語 I フランス語 II
兼任	講師	Frank Riesner <令和7年4月> Master of Mechanical Engineering (独国) ドイツ語 I ドイツ語 II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
	兼任 講師	担当授業科目名 三代川 夏子 <令和7年4月> 修士(法学) 中国語 I 中国語 II
兼任	兼任 講師	渡邊 正明 <令和8年4月> 修士(経済学) 時事英語 I 時事英語 II
兼任	兼任 講師	志鎌 敏彦 <令和7年4月> 修士(教育学) Basic Grammar I Basic Grammar II
兼任	兼任 講師	神崎 百世 <令和8年4月> Master of Arts in TESOL TOEIC®向上講座 I TOEIC®向上講座 II
兼任	兼任 講師	山本 陽子 <令和8年4月> 修士(文学) Writing I Writing II Listening I Listening II
兼任	兼任 講師	角田 勲 <令和7年4月> 商学士 敬天愛人講座 ※
兼任	兼任 講師	北原 文成 <令和7年4月> 経済学士 敬天愛人講座 ※
兼任	兼任 講師	神田(岡崎)山緑(光昭) <令和7年4月> 経済学士 敬天愛人講座 ※

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	兼任 講師	丁 天聖 <令和7年4月> 修士(法学) 中国語 I 中国語 II
兼任	兼任 講師	渡邊 正明 <令和8年4月> 修士(経済学) Listening I Listening II
兼任	兼任 講師	志鎌 敏彦 <令和7年4月> 修士(教育学) Basic Grammar I Basic Grammar II
兼任	兼任 講師	神崎 百世 <令和8年4月> Master of Arts in TESOL TOEIC®向上講座 I TOEIC®向上講座 II
兼任	兼任 講師	山本 陽子 <令和8年4月> 修士(文学) Writing I Writing II Listening I Listening II
兼任	兼任 講師	角田 勲 <令和7年4月> 商学士 敬天愛人講座 ※
兼任	兼任 講師	北原 文成 <令和7年4月> 経済学士 敬天愛人講座 ※
兼任	兼任 講師	神田(岡崎)山緑(光昭) <令和7年4月> 経済学士 敬天愛人講座 ※
兼任	兼任 講師	長戸路 政行 <令和7年4月> 法学士 敬天愛人講座 ※
兼任	兼任 教授	土田 雄一 <令和7年4月> 修士(教育学) 敬天愛人講座 ※

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	福川 裕司 <令和7年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		スポーツ教育Ⅰ スポーツ教育Ⅱ
兼任	講師	佐藤 邦政 <令和7年4月> 博士(文学)
		哲学
兼任	講師	坂東 実子 <令和7年4月> 修士(教育学)
		文学
兼任	講師	覚正 豊和 <令和7年4月> 博士(法学)
		法学 憲法
兼任	講師	金子 新 <令和7年4月> 博士(法学)
		政治学
兼任	講師	菊池 真弓 <令和7年4月> 博士(社会学)
		社会学
兼任	講師	土肥 哲哉 <令和7年4月> 博士(農学)
		環境科学
兼任	講師	松藤 和生 <令和7年4月> 社会学士
		ボランティア活動

教員 区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	中村 敏行 <令和7年4月> 敬天愛人講座 ※
		滝川 恒昭
兼任	教授	<令和7年4月> 修士(歴史学)
		敬天愛人講座 ※
兼任	講師	脇黒丸 新太郎 <令和7年4月> 敬天愛人講座 ※
		福川 裕司
兼任	講師	<令和7年4月> 修士(スポーツ健康科学)
		スポーツ教育Ⅰ スポーツ教育Ⅱ
兼任	講師	佐藤 邦政 <令和7年4月> 博士(文学)
		哲学
兼任	講師	坂東 実子 <令和7年4月> 修士(教育学)
		文学
兼任	講師	覚正 豊和 <令和7年4月> 博士(法学)
		法学 憲法
兼任	講師	金子 新 <令和7年4月> 博士(法学)
		政治学
兼任	講師	菊池 真弓 <令和7年4月> 博士(社会学)
		社会学
兼任	講師	眞崎 良光 <令和7年4月> 博士(理学)
		環境科学
兼任	講師	松藤 和生 <令和7年4月> 社会学士
		ボランティア活動

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和7年度】

- ・「敬天愛人講座(オムニバス)」担当の「矢口兼担教授、佐々木兼担教授、高木兼担教授、庄司兼担教授、土弘兼担教授、佐藤兼担教授、小林兼担教授」7名の担当を解き、新規に「三幣兼担教授、彌島兼担教授、長戸路兼担講師、土田兼担教授、中村兼担教授、滝川兼担教授、脇黒丸兼担講師、木村兼担講師」に変更する。
- ・「三幣准教授」の就任辞退に伴い、「基礎演習Ⅰ」「基礎演習Ⅱ」「専門導入演習Ⅰ」「専門導入演習Ⅱ」「専門演習Ⅰ」「専門演習Ⅱ」「卒業演習Ⅰ」「卒業演習Ⅱ」「卒業論文・卒業研究」の担当を解く。
- ・「久保木兼担講師」の担当科目から「情報基礎Ⅰ」「情報基礎Ⅱ」を削除し「白川准教授」の担当に変更する。
- ・「矢口兼担教授」の担当科目から「インターンシップ」を削除し、「彌島兼担教授」の担当に変更する。
- ・「佐々木兼担教授」の担当科目に、「金融リテラシー」を加える。
- ・「八木兼担教授」の担当科目から「企業の魅力発見」を削除し、「彌島兼担教授」の担当に変更する。
- ・「會田兼担講師」の担当科目から「英語ⅠA」「英語ⅡA」を削除し、「鶴沢兼担講師」の担当に変更する。
- ・「渡邊兼担講師」の担当科目から「時事英語Ⅰ」「時事英語Ⅱ」を削除し、「會田兼担講師」の担当に変更する。
- ・「地崎兼担講師」の担当科目から「文章表現」「口頭表現」を削除し、「佐久間兼担講師」の担当に変更する。
- ・「嶋田兼担講師」の担当科目から「基礎数学」を削除し、「大森兼担講師」の担当に変更する。
- ・「三浦通兼担講師」の担当科目から「英語ⅠB」「英語ⅡB」を削除し、「鶴沢兼担講師」の担当に変更する。
- ・「沢野兼担講師」の担当科目に、「文章表現」「口頭表現」を加える。
- ・「三代川兼担講師」の退職に伴い、「中国語Ⅰ」「中国語Ⅱ」の担当を「丁天聖兼担講師」の担当に変更する。
- ・「Promnitz Hayashi Lara兼担教授」の担当科目から「ListeningⅠ」「ListeningⅡ」を削除し、「渡邊兼担講師」に変更する。
- ・「土肥兼担講師」の退職に伴い、「環境科学」の担当を「眞崎兼担講師」の担当に変更する。
- ・「中西兼担講師」の担当科目から「キャリアデザインを学ぶ」「キャリアプランニング」を削除し、「園井兼担講師」に変更する。
- ・「池原兼担講師」の担当科目から「プログラミング(R)」を削除し、「木村兼担講師」に変更する。

(注)・変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の基幹(専任)教員を変更する場合は**、当該基幹(専任)教員が授業を開始する前に必ず「基幹(専任)教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。

原則としてA C教員審査を受けずに基幹(専任)教員として授業等を担当することは出来ません。

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した

「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。(改正後大学設置基準等の適用にあたり、

「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります

- ・ A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

- ・ 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づき「連係協力学部等(連係協力学科)の基幹教員数について、(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数(α)	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教育研究に従事する必要基幹教員数(α)の4分の3以上)
12 名	6 名	12 名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在(報告時)の状況						
教授	准教授	講師	助教	計(A)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計(A'))	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計(B'))	助手(B')
8	4	0	0	12	12	0	7	3	0	0	10	10	0
(7)	(3)	0	0	(10)	(10)	0							
現在(報告時)の完成年度時の状況							現在(報告時)の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計(C)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計(C'))	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計(D'))	助手(D')
8	4	0	0	12	12	0	8	4	0	0	12	12	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基一」及び「基専」の計)」として記入してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「高専」の計(A'))」欄には「-」を記入してください。
・現在(報告時)の状況には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
・**現在(報告時)の完成年度時の状況には、認可で設置された学部等の場合は、現在(報告時)の状況に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、現在(報告時)の状況に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入**するとともに、()内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
・現在(報告時)の完成年度時の計画には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、()内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
70 歳	4 名	0 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{12}{12} = 100\%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{12}{12} = 100\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{4}{10} = 40\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = -\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	准教授	三幣 真理	R7.3	必修	基礎演習Ⅰ	①	三幣真理氏は本学国際学部専任教員であるが、2025年度に国際学部の大幅なカリキュラム変更が実施されることに伴い、学部運営上の都合から所属変更無しとした。また、情報マネジメント学部については、設置初年度は当初の入学予定者数を下回ったため、既存の教員体制で対応可能と判断し、就任を1年間延期することとした。2026年度、情報マネジメント学部が設置2年目を迎える際に、三幣真理氏は同学部へ異動し、着任する予定である。						
				必修	基礎演習Ⅱ	①							
				必修	専門導入演習Ⅰ	③							
				必修	専門導入演習Ⅱ	③							
				必修	専門演習Ⅰ	③							
				必修	専門演習Ⅱ	③							
				必修	卒業演習Ⅰ	③							
必修	卒業演習Ⅱ	③											
				必修	卒業論文・卒業研究	③							
合計（D）				後任補充状況の集計（E）									
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）					
1	人	必修	9	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	7	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	2	科目	計	0	科目	計	7	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計（F）				後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- （学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
1	人	必修	9	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	2	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{12} = 8.33\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

1 人

(注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。

・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(4) 基幹(専任)教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

基礎教育(基礎演習等)について、他の教員で対応可能であり、専門教育については設置2年目の令和8年から開講のため、学部運営に支障は無く、学生周知の必要なし

(注)・上記(3)の基幹(専任)教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (令和6年)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える基幹教員数の割合が高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教育研究実施組織における教員編制の将来構想を策定し、着実に実行すること。 【認可】 遵守事項	教員組織編制の将来構想について検討し、新規教員の採用計画に向けた準備を行っている	令和7年度～令和10年度末にかけて、公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、情報学分野に関する研究実績を有する中堅の教授2名を採用予定。また、公募等により、博士の学位、大学等における教育歴、経営学分野に関する研究実績を有する中堅の教授2名を採用予定。

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<情報マネジメント学部 情報マネジメント学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
「該当なし」	「該当なし」

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>「敬愛大学・敬愛短期大学FD・SD委員会規程」（平成20年4月1日制定）に基づき、学長を中心とするFD・SD委員会を設置している。</p> <p>また、「敬愛大学教員の研究活動等の評価に係る規程」（平成28年4月1日制定）に基づき、教育研究活動等を点検・評価し、教育の質保証に務めている。</p> <p>「敬愛大学FD・SD委員会規程」</p> <p>(目的)</p> <p>第1条 この規程は、敬愛大学の授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するとともに、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営を図るため教職員に必要な知識及び技能を習得させ、その能力及び資質を向上させるための研修を実施するために敬愛大学FD・SD委員会(以下「委員会」という。)を置き、その運営等に関する必要な事項を定めるものとする。</p> <p>(構成)</p> <p>第2条 委員会は、次の委員をもって組織する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学長 (2) 副学長 (3) 各学部長 (4) 教務部長 (5) 各学部の教務委員長 (6) 大学事務局長 (7) 修学支援室長、大学運営室長 (8) 学長が委嘱する委員 若干名 <p>2 委員長は学長とし、副委員長は学長が指名した委員をもって充てる。</p> <p>3 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。</p> <p>(審議事項)</p> <p>第3条 委員会は、各学部のFD・SD活動が持続的に実施されるよう次の事項について審議する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) FD・SD活動の企画立案に関する事項 (2) FD・SD活動の実施計画の立案に関する事項
--

- (3) FD・SD活動の評価に関する事項
- (4) FD・SD活動に関する情報収集と提供に関する事項
- (5) その他FD・SD活動の推進に関する事項

(会議)

第4条 委員会の会議は、委員長が招集し、議長となる。

- 2 委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を行う。
- 3 委員長が必要と認めた場合、委員以外の者を出席させることができる。
- 4 委員長は、委員の過半数をもって成立し、出席委員の過半数により議決する。

(庶務)

第5条 委員会の庶務は、修学支援室及び大学運営室が行う。

(改廃)

第6条 この規程はの改廃は、委員会及び大学運営会議の議を経て、学長が行う。

附 則

この規程は、平成20年 4月 1日から施行する。

附 則

この規程は、平成21年11月 1日から施行する。

附 則

この規程は、平成27年 4月 1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年12月 1日から施行する。

附 則

この規程は、平成31年 2月 1日から施行する。

「敬愛大学教員の教育研究活動等の評価に係る規程」

(趣旨)

第1条 この規程は、敬愛大学（以下「本学」という。）における専任の教育職員（以下「教員」という。）の教育研究活動等の評価（以下「教員評価」という。）に関する必要な事項を定める。

(目的)

第2条 教員の教育活動等の評価は、次の各号に掲げる目的のために実施する。

- (1) 本学の教育研究活動等の一層の向上を図り、建学の精神「敬天愛人」及び教育理念の実現を図る。
- (2) 評価を通じて教育研究活動等の不断の改善につなげていく教員の自覚を促し、本学の高等教育機関としての教育の質保証を実現する。

(評価の対象者及び期間)

第3条 評価の対象者は、評価を実施する年の4月1日現在において、本学の専任の教授、准教授、講師、助教として在職している者とする。

- 2 教員評価は1年毎に行い、評価期間は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。
- 3 留学、その他の事情で教職任務外の期間については、評価対象期間に含めない。

(評価項目)

第4条 教員評価は、次の項目により評価を行う。なお、各号に係る評価内容については、大学運営会議の意見を聴いて学長が別に定める。

- (1) 教育活動に関する事項
- (2) 研究活動に関する事項
- (3) 貢献活動に関する事項

(教員評価組織)

第5条 学長は、教員評価を実施するために、教員評価委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

- 2 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。
 - (1) 学長
 - (2) 副学長
 - (3) 学部長
 - (4) 教務部長
- 3 委員会の委員長は、学長をもって充てる。
- 4 委員会は、委員長が招集しその議長となる。

(評価に係る資料)

第6条 被評価者は、毎年の教員活動自己点検・評価報告書(以下「報告書」という。)を学長が定める日までに提出しなければならない。

2 委員会は、被評価者より提出された報告書を基に、第4条に規定されている内容を数値化し、教員評価を行うものとする。

(評価結果の取扱い)

第7条 学長は、評価結果を昇給及び賞与増額に係る資料として反映することができる。

但し、昇給については、特任教員は除くものとする。

2 学長は、評価結果を当該教員に通知し、必要に応じ助言あるいは指導を行う。

(改廃)

第8条 この規程の改廃は、大学運営会議の意見を聴いた後、理事会が行う。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年12月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和3年4月1日から施行する。

b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)

委員会は、FD・SD研修会の開催日程及び内容を検討するため、定期的で開催している。構成員は、同規程に基づき、学長を含めた役職者、各学部から選任された教員若干名及び事務職員により組織されている。

- 第1回FD委員会(平成21年12月22日)
- 第2回FD委員会(平成22年2月23日)
- 第3回FD委員会(平成22年3月30日)
- 第4回FD委員会(平成22年5月25日)
- 第5回FD委員会(平成22年9月21日)
- 第6回FD委員会(平成23年3月1日)
- 第7回FD委員会(平成23年5月24日)
- 第8回FD委員会兼学園合同研修会(平成23年8月22日)
- 第9回FD委員会(平成23年10月4日)
- 第10回FD委員会(平成23年12月6日)
- 第11回FD委員会(平成24年6月12日)
- 第12回FD委員会(平成24年10月11日)
- 第13回FD委員会(平成25年6月4日)
- 第14回FD委員会(平成25年10月22日)
- 第15回FD委員会(平成26年6月10日)
- 第16回FD委員会(平成26年11月25日)
- 第17回FD委員会(平成27年7月7日)
- 第18回FD委員会(平成27年10月20日)
- 第19回FD委員会(平成28年6月14日)
- 第20回FD委員会(平成28年10月18日)
- 第21回FD委員会(平成29年6月20日)
- 第22回FD委員会(平成29年12月19日)
- 第23回FD委員会(平成30年5月29日)
- 第24回FD委員会(平成30年6月25日)
- 第25回FD委員会(平成30年10月23日)
- 第26回FD・SD委員会(令和元年7月16日)
- 第27回FD・SD委員会(令和元年10月15日)
- 第28回FD・SD委員会(オンライン)(令和2年8月4日)
- 第29回FD・SD委員会(オンライン)(令和3年1月18日)
- 第30回FD・SD委員会(オンライン)(令和3年6月22日)

- ・第31回FD・SD委員会（オンライン）（令和 3年10月12日）
- ・第32回FD・SD委員会（令和 4年 6月21日）
- ・第33回FD・SD委員会（オンライン）（令和 4年10月 4日）
- ・第34回FD・SD委員会（令和 5年6月 20日）
- ・第35回FD・SD委員会（令和 5年10月 17日）
- ・第35回FD・SD委員会（令和 6年6月 25日）
- ・第35回FD・SD委員会（令和 6年10月 22日）

c 委員会の審議事項等

- ・他大学のFD・SD活動の研究に関する事項
- ・学生による授業評価アンケートに関する事項
- ・教員相互の授業参観の実施に関する事項
- ・FD・SD研修会に関する事項
- ・その他、今後のFD・SD活動の運営に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・FD・SDの実施方針・計画に関する事項
- ・専任教員へのFD・SD研修会の内容、開催日の決定等に関する事項
- ・新任教職員へのFD・SD研修会の内容、開催日の決定等に関する事項
- ・授業評価アンケートの実施日程、実施回数等に関する事項
- ・授業参観の実施実施日程調整等に関する事項
- ・学生満足度調査の実施及びアンケート内容に関する事項

b 実施方法

- ・専任教員へのFD・SD研修会の実施
例年対面による全員参加型の研修会を開催しているが、新型コロナウイルスの感染状況等により、日本学生支援機構の提供するオンラインセミナーも利用し開催する。
- ・新任教職員へのFD・SD研修会の実施
学長、教務部長を中心に、「建学の精神教育と敬愛大学教育憲章」、「授業計画と授業改善について」、事務部門からは、各部署の業務分掌並びに学内システムの有効活用等について研修を実施する。
- ・授業評価アンケートの実施
前期・後期の2回実施している。前期・後期とも10回目の授業終了後に、Webにより学生による授業評価を実施している。また、授業評価の高い教員に対しては褒賞する制度を設ける。
- ・授業参観の実施
前年度の学生による授業評価アンケート結果の評価の高い教員リストを配布し、評価の高い教員の担当授業の参観を例年、前期は6月、後期は11月に期間を指定し実施する。
なお、参観後に専任教員全員に報告書の提出を義務付ける。
- ・学生満足度調査の内容及び実施
卒業対象年次の学生に対し、無記名による学生満足度調査を実施する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

開設年度により、今後実施していく。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

開設年度により、今後実施していく。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・前期・後期の2回実施予定。前期・後期とも10回目の授業終了後に、Webにより「学生による授業評価アンケート」を実施。
各教員が担当する全ての授業について、学生の授業アンケート評価を基に授業内容・方法を改善するための「授業改善報告書（非常勤講師含む全教員）」の提出を義務付ける。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 教員には、授業評価アンケート集計後に学内システム(学内ポータルサイト)において確認(参照)のうえ、授業改善報告書の提出を義務付ける。
- ・ 学生には、集計した「学生による授業アンケート集計」を年度別に冊子に取りまとめ本学のメディアセンターに配架とともに大学HPにも公開予定。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

「該当なし」

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

「該当なし」

c 委員会の審議事項等

「該当なし」

d その他

「該当なし」

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

「該当なし」

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

「該当なし」

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学では、大学教育における教育の理念や目標に照らして、教育活動及び研究活動の状況を点検、評価することで、現状を正確に把握、認識するとともに、その達成状況を評価し、評価結果に基づく改善の推進を図ることを目的として、自己点検・評価を実施する。

特に、教育活動と研究活動を中心として、大学の組織的な教育評価及び個々の教員の教育活動に対する評価の両面から実施するとともに、教育研究活動の水準向上の目標を定めその達成状況を評価し、評価の結果を改革に結び付けるシステムとして実施する。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和8年4月1日 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（令和8年4月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・令和10年に評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

- a 公表予定の有無 [(有) ・ 無]

《aで「有」の場合》

- b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

- c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

- d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。